国民年金

4月から保険料が5,220円になります

この四月から国民年金の定額保険料が、一ヵ月五、二二〇円に改められます。

付加保険料はいままでどおり一ヵ月四〇〇円とすえ置きです。

国民年金は昨年も物価スライドによって、七・八％上積みされました。

このように国民年金は毎年物価の変動に応じた年金が支給されてきました。こうした年金を支給し、将来にわたって健全な年金財政を推持していくためには、現在一ヵ月八、二〇〇円くらいの保険料が必要だといわれています。

国では加入者の急激な負担増を避けるため、昨年の法律改正の際に「昭和五十七年四月からの定額保険料は一ヵ月四、八五〇円とする。しかし、昭和五十六年度において年金額が物価スライドされた場合には、保険料四、八五〇円にそのスライド率を乗じた額とする」との規定により、改定されたわけです。

このようなことから、加入者のみなさんの負担は大きくなりますが、国民年金をよりよい制度にするためにみなさんのご理解とご協力が必要なのです。

なお、生活が苦しいなどの事由で、保険料を納めることが困難な方については、保険料の納付を免除する制度があります。

くわしくは役場の国民年金係にお尋ねください。

くらしの健康
母子の健康を考えよう
期待する父母像

思春期の子供たちは、どのようなことを両親に望んでいるのでしょうか。

(1)父親に対して期待するもの

過去の家族制度からすれば、絶対的、文字通り力の持ち主でしたが、このごろでは、その影がうすらいだと言われて来ています。そうした姿が、子供にとっては、こわい反面、よく理解してくれるいわゆる厳父というより、「友達型パパ」とされているようです。

然し、実際は、優しくて、さっぱりしていて相談にのってくれること、働き者であること、酒やタバコもよいが度を過さないように（健康でいて欲しい）と望んでいます。一緒に遊んでくれたり、何でも買ってやるという父に期待していないようです。

父の権威というのは、決して権力であってはならないのです。愛を最初に感じる相手は母であり、権威を最初に感じる相手は父なのでしょう。少なくとも、子供の前で弱音を吐くことは止め、辛いことがあってもじっとがまんの親であってもらいたいのです。

どこか偉大だなあ、と感じさせるのは、子供に頼もしさを与えさせることは当然ですが、子供自身の向上心、自制心を養う上にも、たいへん大切なことだと思います。

家庭内における父親の役割とは、①子供の自己中心的な感情や欲望に制限を加える。②母と子の世界に仲裁者として存在し、理性的に判断処理する。③子供たちの社会性の形成のためのお手本になる。

これが、子供たちが真に求める父親像のようです。

②母親に対して期待するもの

相談相手として最も頼られるのが母親です。特に女の子の側からは、何でも相談相手になってくれて料理や家事のやりくりがうまく、こまめに働いてる母の姿にたわりの気持ちさえ抱くようです。

母を思う詩や歌が、父のそれより断然多いのは、母の愛情に対する感覚・認識の大きさを物語るのではないでしょうか。

以上、父親・母親を見る子供たちの心をのべましたが、とにかく両親のチームワークが子供の心を育て広げるのではないでしょうか。

（文責　保健婦）

万全に！麦のほ場管理

播種期が必しも、適期でなかったためその後の生育が良い状態ではありません。これからの管理には、農業ごよみ又は、関係指導員等により管理に当ってください。

一、春先の排水、排水、又排水。

麦が、冬期間に腐敗する現象は、雪ぐされ病や湿害によるものですが、一般には越冬前の生育量を或る程度確保してあれば心配ありません。麦は、雪どけ水で消えるので排水条件確保が最も大切です。

二、消雪後に追肥の励行。

麦の有効茎は、一般に十一月下旬に決まります。消雪後追肥は①生育の回復、②分けつの有効果、③幼穂の発育促進、④粒重の増大に大きく役立のです。良く検討を加え是非実施しましょう。

又、春先の風には、園芸施設等農作物にも充分気をつけましょう。

社協の法人化への足どり

岩室村社会福祉協議会
会長　本間　八十太郎

宿願の社協の内包外苑を拡大強化し、全村民総参加の法人化へまでの前提段階として、各種機関をもうらして、代表者によって結束の評議員会を結成のため、住民福祉課の樋浦課長が積極的に出県するなどして、要望して下さって、そのしょ光を見だしたことはありがたい限りで、この実現を待望するとともに各位のご協力を願うものです。

▽随想管見として

多宝百働会（仮称）誕生を幻想して

誰れもが老齢の段階に入れば、地位、名誉、財務等、すべての意欲はなくなるものの唯一の望みは健康長寿を願望のはず、敬老会の席上で、玉川大学の小原国芳先生などが提唱されている「百まで生きよう会」いわゆる百働会への加入の一言をしたところ、共鳴の方々があり、私案をたててみました。

◎この意図するもの

四恩に感謝し、天寿を全っとうするために天与の生命ほどありがたく、尊いものはない、そこで、年を忘れ、若やぎをもって天寿を全っとうしようとすることをねらいとしている。

◎では、天寿とは

細胞が老化し死滅するに百十七年かかるという柏寿「百十七歳」説など諸説があり、その意味からすれば七十歳以下の死亡は自殺のようなものといわなければならない。

◎その天寿を全うする方途は

少くとも百歳まで働くことにあり、その百働会だが、体力に限度があり、労働、労作と狭く解釈してはならない、常に体内に太陽を包蔵して〝日々是好日〟で報恩感謝で暮らすことであろう。

◎会員など組織

会員は、老人クラブが加入（六十五歳～七十歳）し、公的な老人クラブを昇華、しぼったような格付にしたい、役員は、世話役をおく程度で会費は必要に応じてその都度最少限に徴収。

この百働会提唱の私案も社協として老人福祉の一つの方策かとも愚考している。（要約し掲載）

お忘れなく、契約の更新
もしやに、そなえて
家族そろって
交通災害に加入を

交通事故絶滅の願いもむなしく、事故はあとを絶ちません。一日一円の安い掛金で相互に助け合うという、交通災害共済制度、もうすっかり定着したようです。

歩いていて車にはねられたり、バイクや自転車で転んでけがをしたりしたときに見舞金が受けられるものです。

現在、岩室村では八、〇五六人のみなさんが加入され、これまでに、十七件九十一万円の見舞金が支払われています。

今、加入されている人も三月三十一日で昭和五十六年度分の契約期間がきれますので、近く各区長さんを通じて、この申し込み書を配布いたします。

加入申込み書が届きましたら、忘れないうちに、手続きをすませてください。

▽加入できる人

岩室村に住所のある人は、どなたでも加入できます。

▽会費

一人年額三五〇円（途中加入者も同額です）

▽共済期間

四月一日から来年三月三十一日まで（途中加入者は加入日の翌日から）

▽見舞金は……

けがの程度に応じて、二万円から七十万円まで、死亡の場合は百万円です。

▽申し込み方法

各区長さんを通して配布される加入申し込み書には、一月末現在で、各世帯員名が記載されていますので、確認をして、一人三五〇円の会費をそえて区長さんか村内各金融機関に申し込んでください。

見舞金の請求は一年以内に

見舞金の請求は交通災害を受けたときから一年以内となっています。請求には、①見舞金請求書、②事故証明書、③医師の診断書が必要です、用紙の請求など、制度のくわしいことは、総務課（二―四一一一）までお問い合せください。

数々の善意
ありがとうございます

▽樋曾の三富利之さんから「父富雄一月十一日没」の冥福を祈られて金五万円。

△橋本の後藤　功さんから「養父七郎一月五日没」の冥福を祈られて金十万円。

▽西船越の小川石郎さんから「父幸一郎六月十五日没、母キイ十二月二十九日没」の冥福を祈って金五万円。

▽岩室の上村大心さんから寒念仏の浄財一万円。

▽問瀬の寒念仏有志代表海雲寺さんから寒念仏の浄財一万円。

それぞれ社会福祉のために役立てとご寄付がありました。

▽樋曾の三富正行さんから「父健平十二月二十一日没」の冥福を祈られて村勢振興のために役立てほしいと金五万円のご寄付がありました。

いずれも趣旨に添い有意義に活用させていただきます。

（訂正とおわび）

一月号の記事中、「栄の草の実グループの利益金……」とありますが、「草の実グループ（数部落の有志で構成）で売上金……。」と訂正いたします。

また不手際で掲載が遅れるという失礼をしてしまった方もありました。つつしんでおわびいたします。